

# ダイワ米国国債ファンド ーラダー10ー (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版)

### 第11期

(決算日 2019年3月11日)

(作成対象期間 2018年9月11日~2019年3月11日)

#### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	約9年11カ月間(2013年9月27日~2023年9月8日)		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド	米国国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5611>

<5612>

為替ヘッジあり

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 米国債インデックス (米ドルベース)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期末(2017年3月10日)	9,429	90	△ 3.9	10,563	△ 3.9	99.5	—	5,829
8期末(2017年9月11日)	9,508	110	2.0	10,992	4.1	96.1	—	5,585
9期末(2018年3月12日)	9,057	60	△ 4.1	10,635	△ 3.3	99.0	—	6,828
10期末(2018年9月10日)	8,915	80	△ 0.7	10,734	0.9	97.8	—	6,380
11期末(2019年3月11日)	8,927	80	1.0	11,038	2.8	95.9	—	6,014

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：8,915円

期末：8,927円（分配金80円）

騰落率：1.0%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、金利が低下（債券価格は上昇）したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国国債ファンド -ラダー10- (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		FTSE 米国債インデックス (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2018年 9月10日	8,915	—	10,734	—	97.8	—
9月末	8,870	△ 0.5	10,686	△ 0.5	99.7	—
10月末	8,855	△ 0.7	10,663	△ 0.7	98.0	—
11月末	8,879	△ 0.4	10,718	△ 0.2	97.6	—
12月末	8,978	0.7	10,929	1.8	95.7	—
2019年 1月末	8,991	0.9	10,970	2.2	97.7	—
2月末	8,985	0.8	10,991	2.4	100.1	—
(期末) 2019年 3月11日	9,007	1.0	11,038	2.8	95.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018. 9. 11 ~ 2019. 3. 11)

### ■米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半においては、F R B (米国連邦準備制度理事会) による継続的な利上げ期待などを背景に金利は上昇しました。しかしその後は、F R Bによる利上げ期待が後退したことや、世界経済の減速が懸念され市場のリスク回避姿勢が高まったことなどを受けて、米国債券市場では金利は低下に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2018. 9. 11 ~ 2019. 3. 11)

### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れました。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

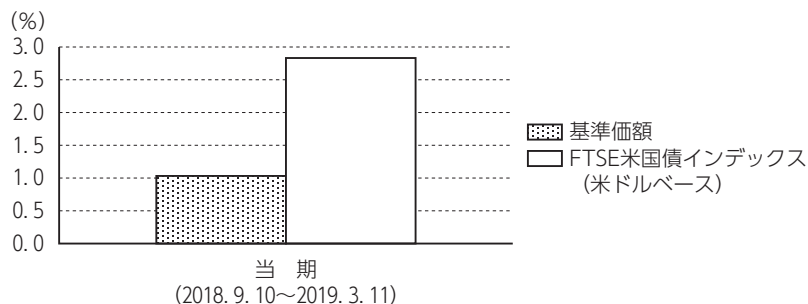
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2018年9月11日 ~2019年3月11日	
<b>当期分配金 (税込み) (円)</b>		<b>80</b>
対基準価額比率 (%)		0.89
当期の収益 (円)		71
当期の収益以外 (円)		9
翌期繰越分配対象額 (円)		106

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■ 収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	80.67円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		95.91
(d) 分配準備積立金	✓	9.82
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		186.41
(f) 分配金		80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		106.41

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 9. 11～2019. 3. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.344%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,913円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.161)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	32	0.354	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年9月11日から2019年3月11日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国 トレジャリー・ マザーファンド	180,520	220,000	718,657	889,500

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	5,213,967	4,675,830	5,853,671

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	5,853,671	96.1
コール・ローン等、その他	235,570	3.9
投資信託財産総額	6,089,242	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.95円です。

(注3) ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(9,540,752千円)の投資信託財産総額(9,556,122千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	11,896,924,449円
コール・ローン等	186,791,459
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド(評価額)	5,853,671,771
未収入金	5,856,461,219
(B) 負債	5,882,876,992
未払金	5,807,682,200
未払収益分配金	53,897,905
未払信託報酬	21,050,290
その他未払費用	246,597
(C) 純資産総額(A-B)	6,014,047,457
元本	6,737,238,238
次期繰越損益金	△ 723,190,781
(D) 受益権総口数	6,737,238,238口
1万口当り基準価額(C/D)	8,927円

\* 期首における元本額は7,156,785,730円、当作成期間中における追加設定元本額は30,542,532円、同解約元本額は450,090,024円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,927円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は723,190,781円です。

■損益の状況

当期 自 2018年9月11日 至 2019年3月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 23,934円
受取利息	610
支払利息	△ 24,544
(B) 有価証券売買損益	83,112,195
売買益	482,031,390
売買損	△ 398,919,195
(C) 信託報酬等	△ 21,317,072
(D) 当期損益金(A+B+C)	61,771,189
(E) 前期繰越損益金	△ 448,394,105
(F) 追加信託差損益金	△ 282,669,960
(配当等相当額)	( 64,623,092)
(売買損益相当額)	(△ 347,293,052)
(G) 合計(D+E+F)	△ 669,292,876
(H) 収益分配金	△ 53,897,905
次期繰越損益金(G+H)	△ 723,190,781
追加信託差損益金	△ 282,669,960
(配当等相当額)	( 64,623,092)
(売買損益相当額)	(△ 347,293,052)
分配準備積立金	7,073,582
繰越損益金	△ 447,594,403

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	54,354,807円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	64,623,092
(d) 分配準備積立金	6,616,680
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	125,594,579
(f) 分配金	53,897,905
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	71,696,674
(h) 受益権総口数	6,737,238,238口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	80円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

為替ヘッジなし

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 米国債インデックス (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期末(2017年3月10日)	11,219	120	8.2	12,298	7.9	98.7	—	7,394
8期末(2017年9月11日)	10,774	110	△ 3.0	12,045	△ 2.1	98.5	—	6,787
9期末(2018年3月12日)	10,176	90	△ 4.7	11,493	△ 4.6	98.1	—	4,046
10期末(2018年9月10日)	10,486	120	4.2	12,033	4.7	97.7	—	3,766
11期末(2019年3月11日)	10,652	110	2.6	12,376	2.9	97.7	—	3,735

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE 米国債インデックス (円換算) は、FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

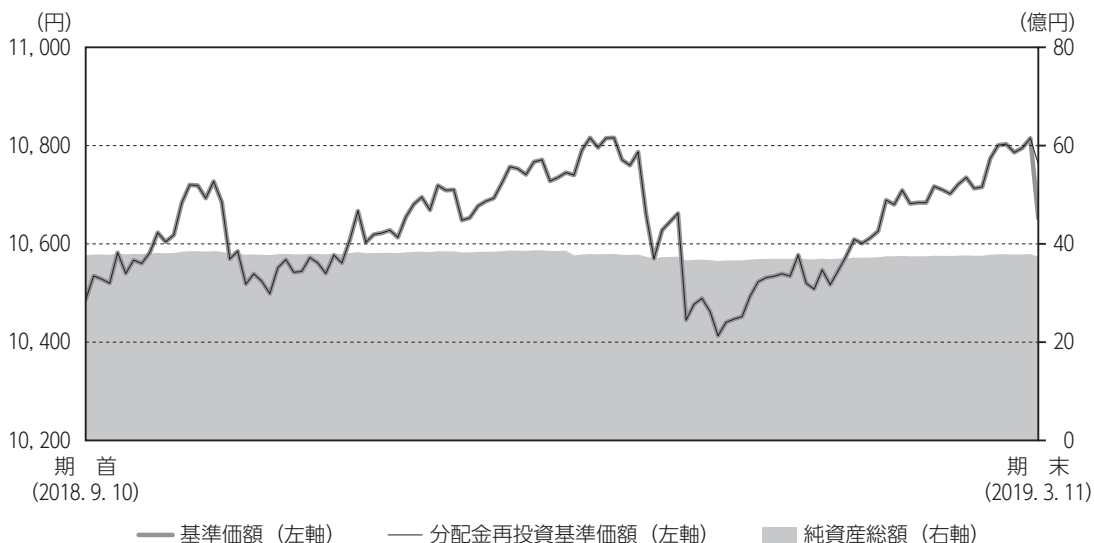
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：10,486円

期末：10,652円（分配金110円）

騰落率：2.6%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、金利が低下（債券価格は上昇）したことや為替相場においてやや円安が進行したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		FTSE 米国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首)2018年9月10日	10,486	—	12,033	—	97.7	—
9月末	10,683	1.9	12,263	1.9	97.6	—
10月末	10,667	1.7	12,203	1.4	97.4	—
11月末	10,741	2.4	12,290	2.1	97.9	—
12月末	10,662	1.7	12,259	1.9	97.9	—
2019年1月末	10,517	0.3	12,079	0.4	97.8	—
2月末	10,716	2.2	12,313	2.3	98.3	—
(期末)2019年3月11日	10,762	2.6	12,376	2.9	97.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2018. 9. 11 ~ 2019. 3. 11)

### ■ 米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半においては、F R B (米国連邦準備制度理事会) による継続的な利上げ期待などを背景に金利は上昇しました。しかしその後は、F R Bによる利上げ期待が後退したことや、世界経済の減速が懸念され市場のリスク回避姿勢が高まったことなどを受けて、米国債券市場では金利は低下に転じました。

### ■ 為替相場

米ドルは対円でおおむね横ばいになりました。

当作成期首から2018年11月の米ドル円は、おおむね堅調な推移となりました。12月から2019年1月にかけては、景気減速が懸念される中で円高が急速に進行する場面も見られたものの、その後は円安基調での推移となり、当作成期全体で見ると、米ドル円はおおむね横ばいとなりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。

### ■ ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米回国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2018. 9. 11 ~ 2019. 3. 11)

### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れました。

### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

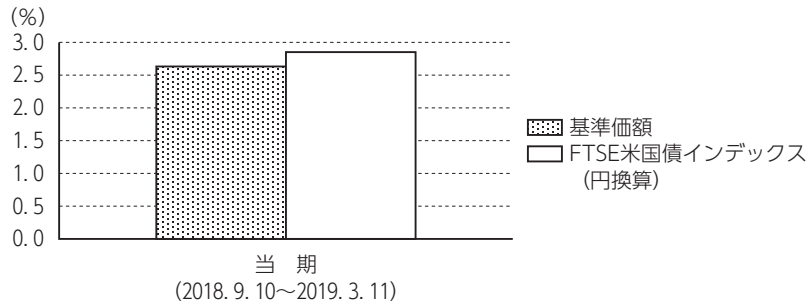
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当 期	
	2018年9月11日 ～2019年3月11日	
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>110</b>
対基準価額比率	(%)	1.02
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	10
翌期繰越分配対象額	(円)	1,811

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 114.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	1,398.81
(d) 分配準備積立金	✓ 408.57
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,921.65
(f) 分配金	110.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,811.65

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。

### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 9. 11~2019. 3. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0.345%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,637円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.162)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	38	0.354	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年9月11日から2019年3月11日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国 トレジャリー・ マザーファンド	—	—	115,304	144,200

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	3,073,009	2,957,705	3,702,751	3,702,751

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	3,702,751	97.8
コール・ローン等、その他	84,823	2.2
投資信託財産総額	3,787,574	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.95円です。

(注3) ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(9,540,752千円)の投資信託財産総額(9,556,122千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,787,574,853円
コール・ローン等	84,823,412
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド(評価額)	3,702,751,441
(B) 負債	51,745,286
未払収益分配金	38,579,738
未払信託報酬	13,013,153
その他未払費用	152,395
(C) 純資産総額(A-B)	3,735,829,567
元本	3,507,248,999
次期繰越損益金	228,580,568
(D) 受益権総口数	3,507,248,999口
1万口当り基準価額(C/D)	10,652円

\* 期首における元本額は3,592,248,999円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は85,000,000円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,652円です。

■損益の状況

当期自2018年9月11日至2019年3月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 7,665円
受取利息	177
支払利息	△ 7,842
(B) 有価証券売買損益	109,815,600
売買益	112,015,320
売買損	△ 2,199,720
(C) 信託報酬等	△ 13,170,912
(D) 当期損益金(A+B+C)	96,637,023
(E) 前期繰越損益金	△ 320,076,476
(F) 追加信託差損益金	490,599,759
(配当等相当額)	( 445,159,329)
(売買損益相当額)	( 45,440,430)
(G) 合計(D+E+F)	267,160,306
(H) 収益分配金	△ 38,579,738
次期繰越損益金(G+H)	228,580,568
追加信託差損益金	490,599,759
(配当等相当額)	( 445,159,329)
(売買損益相当額)	( 45,440,430)
分配準備積立金	144,794,327
繰越損益金	△ 406,813,518

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	40,078,142円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	490,599,759
(d) 分配準備積立金	143,295,923
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	673,973,824
(f) 分配金	38,579,738
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	635,394,086
(h) 受益権総口数	3,507,248,999口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	110円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%) の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

# ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

## 運用報告書 第6期 (決算日 2019年3月11日)

(作成対象期間 2018年3月13日～2019年3月11日)

ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	米国国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

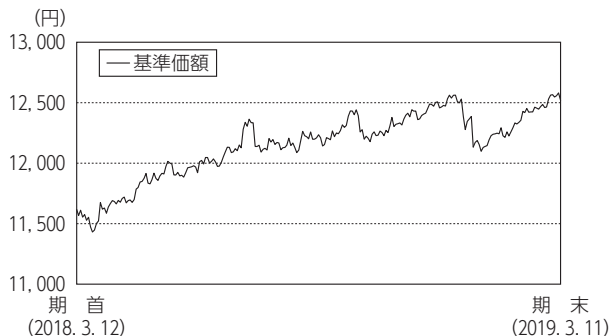
### 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,618円 期末：12,519円 騰落率：7.8%

【基準価額の主な変動要因】

米国国債に投資した結果、金利が低下（債券価格は上昇）したことや為替相場において円安が進行したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国金利は上昇しました。米国と中国の間での貿易摩擦が緩和されるとの期待を受けた市場のリスク回避姿勢の後退や、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げの実施などが、金利上昇要因となりました。しかし2018年11月以降は、F R Bによる利上げ期待の後退や世界経済の減速懸念などを背景に、米国債券市場では金利は低下に転じました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

当作成期前半の米ドル円は堅調に推移しました。米中貿易摩擦の解決期待に伴う市場のリスク回避姿勢の後退や、F R B（米国連邦準備制度理事会）による継続的な利上げの実施などが、米ドル高円安要因となりました。2018年12月から2019年1月にかけて、景気減速が懸念される中で円高が進行する場面も見られたものの、当作成期全体で見ると、米ドル高円安が進行しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

◆ポートフォリオについて

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

年 月 日	基準 価 額		FTSE 米国債 インデックス (円換算)		公 社 債	債 券
	円	騰落率	参考指数	騰落率	組入比率	先物比率
		%		%	%	%
(期首) 2018年 3月12日	11,618	—	11,493	—	99.1	—
3月末	11,620	0.0	11,527	0.3	99.0	—
4月末	11,849	2.0	11,731	2.1	98.2	—
5月末	11,885	2.3	11,790	2.6	98.6	—
6月末	12,095	4.1	12,009	4.5	98.4	—
7月末	12,109	4.2	11,998	4.4	98.2	—
8月末	12,197	5.0	12,099	5.3	98.6	—
9月末	12,388	6.6	12,263	6.7	98.4	—
10月末	12,378	6.5	12,203	6.2	98.2	—
11月末	12,471	7.3	12,290	6.9	98.6	—
12月末	12,386	6.6	12,259	6.7	98.4	—
2019年 1月末	12,225	5.2	12,079	5.1	98.2	—
2月末	12,464	7.3	12,313	7.1	98.6	—
(期末) 2019年 3月11日	12,519	7.8	12,376	7.7	98.5	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSE 米国債インデックス (円換算) は、FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

## ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 ( 1)
(その他)	( 0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2018年3月13日から2019年3月11日まで)

外 国	アメリカ	国債証券	買付額	売付額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			35,478	43,574
			( )	( 8,458)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2018年3月13日から2019年3月11日まで)

買 付		当 期	期 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額	
	千円		千円	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.125% 2021/8/15	384,471	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2024/8/15	464,718	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2021/2/15	335,251	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2022/8/15	438,756	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2023/2/15	323,289	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2028/2/15	360,774	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2023/8/15	323,595	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.625% 2020/8/15	380,235	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15	316,319	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2022/2/15	350,183	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.875% 2028/5/15	300,460	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2024/2/15	294,044	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/8/15	300,460	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2020/2/15	283,159	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2019/8/15	269,511	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2026/8/15	246,512	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/2/15	250,727	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15	209,209	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/8/15	223,972	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2023/11/15	106,475	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率			
		評 価 額		%			%	%	%	%
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額							
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%		
アメリカ	85,798	84,877	9,417,168	98.5	—	47.3	30.8	20.4		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取扱業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	1,996	1,998	221,724	2019/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.6250	2,986	3,000	332,886	2019/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.3750	2,107	2,118	235,076	2019/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.6250	1,663	1,679	186,332	2020/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.5000	1,769	1,788	198,462	2020/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	709	710	78,779	2020/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	2,426	2,430	269,700	2020/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.6250	3,794	3,876	430,066	2021/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	1,968	1,995	221,410	2021/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	3,437	3,410	378,383	2021/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	2,173	2,148	238,372	2021/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	1,287	1,271	141,063	2022/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	2,617	2,563	284,366	2022/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	2,287	2,222	246,574	2022/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	4,162	4,094	454,339	2023/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	2,469	2,401	266,487	2023/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	3,131	3,139	348,332	2023/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	1,692	1,715	190,308	2023/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	1,563	1,585	175,879	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	2,309	2,313	256,721	2024/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	255	253	28,168	2024/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	2,389	2,361	262,014	2024/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	4,042	3,933	436,441	2025/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	1,920	1,879	208,497	2025/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	3,779	3,665	406,730	2025/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	1,878	1,847	204,978	2025/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	1,573	1,483	164,557	2026/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	1,881	1,769	196,337	2026/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	1,756	1,632	181,098	2026/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	2,550	2,451	272,024	2026/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	3,105	3,035	336,772	2027/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	2,460	2,425	269,096	2027/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	3,050	2,972	329,829	2027/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	2,375	2,311	256,465	2027/11/15
United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	1,150	1,163	129,096	2028/02/15	
United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	2,655	2,711	300,852	2028/05/15	
United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	230	234	26,060	2028/08/15	
United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	1,750	1,824	202,398	2028/11/15	
United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	455	454	50,478	2029/02/15	
合 計	銘柄数 金 額	39銘柄		85,798	84,877	9,417,168	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ米国トレジャー・マザーファンド

## ■投資信託財産の構成

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	9,417,168 千円	98.5 %
コール・ローン等、その他	138,954	1.5
投資信託財産総額	9,556,122	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.95円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(9,540,752千円)の投資信託財産総額(9,556,122千円)に対する比率は、99.8%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年3月11日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>9,556,122,229円</b>
コール・ローン等	94,192,649
公社債(評価額)	9,417,168,173
未収利息	42,856,368
前払費用	1,905,039
<b>(B) 負債</b>	<b>—</b>
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>9,556,122,229</b>
元本	7,633,535,596
次期繰越損益金	1,922,586,633
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,633,535,596口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	12,519円

\*期首における元本額は9,319,773,536円、当作成期間中における追加設定元本額は180,520,227円、同解約元本額は1,866,758,167円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国国債ファンド—ラダー10—(為替ヘッジあり)4,675,830,155円、ダイワ米国国債ファンド—ラダー10—(為替ヘッジなし)2,957,705,441円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は12,519円です。

## ■損益の状況

当期 自 2018年3月13日 至 2019年3月11日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>252,303,481円</b>
受取利息	252,340,870
支払利息	△ 37,389
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>522,720,828</b>
売買益	565,887,690
売買損	△ 43,166,862
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 1,131,882</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>773,892,427</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,508,356,266</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 399,141,833</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>39,479,773</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>1,922,586,633</b>
次期繰越損益金(H)	1,922,586,633

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。